



校長室だより

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標 「自ら学ぶ子供」

R5,10,30 No,18

八代小ホームページ

警察と連携した「情報モラル教育」を実施しました

10月26日(木)、5・6年生を対象とした「情報モラル教育」を実施しました。今回は、講師に八代警察署所属のスクールサポーターの方にご来校いただき、小中学生がSNSを介してストーカー行為等の犯罪に巻き込まれた事例やその予防策等について、DVD視聴や講話を通して伝えていただきました。

警察の方からのお話しは、子供たちの心に響いたのでしょう、終始真剣な表情で見聞きしていました。

本校では、子供たちのスマートフォンやタブレットPCなどの所持率が高まると共に、トラブルの発生件数も増えてきたことから、「子供たちをSNSを介した様々な犯罪から守りたい」「SNSを介したいじめの被害者及び加害者にさせたくない」という思いで、情報モラル教育に学校総体で取り組んでいるところです。

今後、12月の授業参観時には、全保護者と全児童を対象にした通信関係の企業と連携した情報モラルに係る取組を行う予定ですので、是非ご参加いただきますようお願いします。



SNSに潜む危険から子供を守るのは大人（保護者）しかいません【パートⅡ】

前号に引き続き、SNSの恐怖から子供を守るための大人の役目について掲載します。

安易なクリックに要注意！

私たち大人は、一方的に送りつけられてくる（迷惑）電子メールについている添付ファイルには、不正プログラム※が仕込まれている可能性があることを知っていますので、安易にクリックしません。しかし、そのメールが、知人からのものだったら、大人でも思わずクリックしてしまわないでしょうか。それが子供ならどうでしょうか。

不正プログラムの代表的な「クープフェイス」は、感染したユーザのパソコンから情報を窃取し、アカウントにログインすることで、本人になりすましたメッセージをSNS上で知人に送りつけ、不正プログラムを拡散させていくそうです。その他、SNSのアカウントを乗っ取ったり、SNSに実在しない機能を宣伝し、ダウンロードを促す迷惑メールでサイトに誘導し、不正プログラムをインストールさせようとしたりするなど、多種多様な手口があるそうです。

こういう悪質な手口から子供を守る（騙されないようにする）ためには、

○違法・有害サイトと繋がらないように「フィルタリング」を設定する。

※フィルタリングを使用しても違法・有害サイトへ繋がることがあるので、定期的に使用内容を確認することが必要です。

○なりすまし防止のために（推測しづらい）「パスワード」の設定と定期的な変更と誰にも教えない約束をする。

※設定や変更は、保護者と共に行い、常に把握しておくことが必要です。

○身に覚えのない請求メールなどは無視する約束をする。

※クリックしない、送信元に問い合わせたりしないように確認しておくことが必要です。

○フィッシングの誘導につられない約束をする。

※暗証番号やID、パスワード、個人情報等を問い合わせには応じないようにさせることが必要です。

○セキュリティ対策として、アプリは公式サイトからインストールするように約束する。

※アプリのインストールは、保護者と共に行い、把握しておくことが必要です。

などの対策が必要だと思っておりますので、ご確認ください。

※不正プログラムとは、コンピュータウイルスやスパイウェアなど、利用者にとって有害な動きをする悪意あるプログラムのことです。



きけん!

